Creative Enzymes®

組換え大腸菌由来のガラクトース脱水素酵素

Cat. No. NATE-1931

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	酵素学において、ガラクトース1-脱水素酵素（EC 1.1.1.48）は、次の化学反応を触媒する酵素です：D-ガラクトース + NAD+ ⇌ D-ガラクトノ-1,4-ラクトン + NADH + H+。したがって、この酵素の2つの基質はD-ガラクトースとNAD+であり、3つの生成物はD-ガラクトノ-1,4-ラクトン、NADH、およびH+です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特にNAD+またはNADP+を受容体とする供与体のCH-OH基に作用するものです。この酵素はガラクトース代謝に関与しています。
別名	D-ガラクトース:NAD+ 1-オキシドレダクターゼ; D-ガラクトース脱水素酵素; ベータ-ガラクトース脱水素酵素; NAD+-依存性D-ガラクトース脱水素酵素; ガラクトース 1-脱水素酵素; EC 1.1.1.48; ガラクトース脱水素酵素

製品情報

由来	大腸菌
形態	硫酸アンモニウム懸濁液
***EC*番号**	EC 1.1.1.48
***CAS*登録番号**	9028-54-0
分子量	ca. 33,800
活性	80 U/mgタンパク質以上
***pH*安定性**	5.0 - 10.0
最適pH	10.5
熱安定性	アンモニウム硫酸塩ありで50°Cまで、アンモニウム硫酸塩なしで40°Cまで、活動の顕著な減少は見られません。
単位定義	1単位の活性は、30°Cで1分あたり1μmolのNADHを生成するGalDHの量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	4-10°Cで保管してください（凍結しないでください）
安定性	4 °Cで少なくとも1年間安定しています